

日々是 宇和島 (38)

暮しの中に真珠を

本市の基幹産業である第一次産業は、生産者の高齢化や将来の担い手不足に加え、かつてのようになかなか商品が売れないなどの問題に直面しています。それに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大は、消費や販売にさらなる暗い影を落としています。特に真珠産業では、2年前から続くアコヤガイ稚貝の大量へい死により、安定的に真珠母貝を提供できなくなる事態へと陥っています。

本市としては、まずは真珠母貝の安定供給を目指しているこうと、令和2年度の補正予算では、母貝養殖業者に対するサポートとして、稚貝や資材などに対する補助事業を計上しました。また令和3年度の当初予算では、販売業者の後押しに関する予算を計上しています。さらには今できることとして、昨秋から関係者と話し合いながら進めてきた、宇和島真珠応援企画「#With Pearl」プロジェクトをスタートしたところであります。

この企画は、現在展開中の「#鯛



たべよう」のように、日常の中で真珠に関わるさまざまな場面でSNSで「#withpearl」「#ウイズパール」を付けてのSNS投稿を呼びかけ、「真珠を特別な場面だけでなく身近な存在として日常的に使ってもらおう」ことを訴えていくものです。公式インスタグラムでの発信のほかにも、市ホームページに特設ページを設け、ふるさと納税特集ページを設置するなど、真珠の生産量日本一を誇る本市の存在感をPRし、消費拡大につなげていきたいと思っています。

市民の皆さんはもちろん、本市にご縁のある皆さん、是非とも協力をお願いします。



大河ドラマの主人公「渋沢栄一」と宇和島



2月14日(日)から始まった大河ドラマの主人公は、新一万円札の顔として注目される「渋沢栄一」です。

渋沢栄一は宇和島にゆかりがあり、宇和島出身で日本初の法学者 穂積陳重の妻は渋沢栄一の長女歌子です。渋沢を明治政府に導いたのは伊達宗城公など、渋沢の成功の裏には宇和島の影響が少なからずありました。渋沢初の愛媛入り（大正4年）は、吉田町出身で明治の海運王山下亀三郎が懇願し実現しています。



【渋沢栄一】

「女子教育」は渋沢が重きを置いたものですが、亀三郎も吉田高等学校の前身である「私立山下実科女学校」（大正6年）を設立しました。同校には渋沢の書「優美貞淑」が残されています。

吉田町図書館では渋沢栄一に関する資料を展示しています。ぜひお越しください。



■渋沢栄一氏と宇和島市吉田町とのつながり

【と き】 3月21日(日)まで

【ところ】 吉田町図書館

【休館日】 毎週月曜日、祝日、図書整理日

※祝日が月曜日の場合翌火曜日が振替休日。

【問合せ先】 吉田町図書館 ☎52-3169